

## ○横浜薬科大学 鰐淵清史先生による講義の様子と生徒の感想



講義名：「身近な薬をつくってみよう」

### ☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 H.Kさん

鰐淵清史先生へ

私達のために体験模擬授業を行っていただき、ありがとうございました。

私は、鰐淵清史先生の授業を前に受けたことがあり、匂い系の内容について教わったことを覚えていました。

今回は、サリチル酸は熱で反応する物質ということがわかりました。重曹とサリチル酸を加熱してサリチル酸メチルへと変化させることを学びました。

「薬学」とは「くすり」と呼ばれる化学物質を、人類の健康に役立てるため開発・製造し、適切に使用できるように研究する学問ということを知り、薬学部が薬剤師の仕事だけではないということ、食品や化粧品系などの仕事もあることに興味・関心を持つことができました。貴重なお話をありがとうございました。

湿布などで良く使われている消炎鎮痛作用を持つ医薬品サリチル酸メチルを作る実験をしました。

70度と室温のサリチル酸に  $\text{NaHCO}_3$  (重曹) を入れ、匂いの変化を比べました。始めはよくわからない不思議な匂いだなと思いました。結果は、70度で温めた方のサリチル酸が湿布の匂いへと変化したことがわかりました。サリチル酸は熱に反応する物質ということ、サリチル酸からサリチル酸メチルへと変化することを学ぶことができました。先生から化粧品だけを学びたいなら化粧品学科もあるということを知ったので調べたところ、とても興味を持てる学科でした。



## 1年 A.Yさん

本日このような時間をいただきありがとうございました。

私は、前回大学見学会で先生の授業を受けていました。先生の話し方は、とても聞き取りやすく、丁寧に説明をしてくださるのでとても印象に残っていました。今回、「身近な医薬品を作ってみよう」という授業では、「サリチル酸メチルを作る」実験をしました。私は不安な気持ちでしたが、実験は成功できました。いい経験になりました。本当にありがとうございました。

今回の体験模擬授業では、「消炎鎮痛作用」を持つ薬品サリチル酸メチルを作りました。授業前は、1人で行うと思っていましたが2人ペアと聞き少し安心しました。実験の内容が試験管の中にサリチル酸が入ったのを2つあり、はじめゴム栓をしてあったためゴムの匂いがしてサリチル酸の匂いがしませんでした。そして、メタノールを室温と70度で準備したところ、室温のものは匂いしませんでした、70度のものは湿布の匂いがしました。

私は、体験授業でサリチル酸メチルは湿布の匂いがすることを知りました。「消炎鎮痛剤」は、どんな効果があるのか、また副作用があることも知ることができました。薬学部では、コミュニケーション力が必要と聞きましたが、医療・薬事説明は大切なことなので今からでも話し方（コミュニケーション力）に気をつけたいと思いました。薬の知識をしっかり持たないと人を殺してしまう可能性があるため、責任があります。大学では高校の化学や生物、物理をやり直す（復習）と聞き、今からでも真剣に取り組むことを意識していきたいです。